

別紙

A. 歯科医師としての基本的価値観

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努めることができる。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重することができる。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接することができる。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努めることができる。

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動できる。

- ① 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重できる。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たすことができる。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応することができる。
- ④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応することができる。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努めることができる。

2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮できる。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努めることができる。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践することができる。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行うことができる。
- ④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践することができる。
- ⑤ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努めることができる。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図ることができる。

- ① 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行うことができる。
- ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行うことができる。
- ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行することができる。
- ④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携することができる。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行うことができる。

- ① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集することができる。
- ② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成することができる。
- ③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施することができる。
- ④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成することができる。

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築くことができる。

- ① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接することができる。
- ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる。
- ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握することができる。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図ることができる。

- ① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図ることができる。
- ② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解することができる。
- ③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図ることができる。

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献できる。

- ① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解することができる。
- ② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解することができる。
- ③ 予防医療・保健・健康増進に努めることができる。
- ④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献することができる。

- ⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解することができる。

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与することができる。

- ① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付けることができる。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用することができる。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解することができる。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努めることができる。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことができる。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握することができる。